

くろべだより



令和6年3月15日 第343号

障害児支援セミナー

主任 西野 佳代子

地域支援の一環として平成21年度から障害児支援セミナーに取り組んでおり、保育所や放課後児童クラブ、放課後等デイサービス等、障害児を支援する職員の方向けに研修会を行っています。昨年度と今年度は、感染症の状況を考慮し、より多くの方に参加していただけるよう、対面形式ではなく、ウェブ形式（YouTubeにて講義内容を動画配信する）で行いました。

例年、第1回目の研修では、『発達の子になるお子さんの理解と対応』と題し、発達の気になるお子さんの特性とその支援方法等に関する基本的な内容について、学園職員による講義を行っており、今年度も同様の内容を配信しました。

第2回目の研修内容は、毎年異なりますが、今年度は『現場における発達に気になるお子さんへの支援のコツ』と題し、公認心理士の菊川彩華先生による講義を配信しました。

支援のポイントとして、①見ることの強みを生かす、②コミュニケーションをはぐくむ、③肯定的につたえる、④物や刺激を整理する、の4点を挙げ、その具体的な支援方法についてお話がありました。あわせて、

うまくいかなかった支援例とその理由や別の支援方法についても学びました。また、子どもの「困った行動」の原因を探ることで、支援の仕方が見えてくるのお話から、困った行動の具体例について、「目に見える行動」と「行動が起きる原因」について考える演習も行いました。私たち支援者は、日々悩み、時には失敗しながら支援をしている中で、子どもたちを「こんな困ったことばかりして…」と見てしまいがちですが、子どもの困り感を理解し、「困った行動」の原因を分析した上で支援を探っていくことが大切であると再認識しました。

最後に、ウェブ形式での実施について、参加者からは「都合のよい時間に」「繰り返し」視聴でき参加しやすいとの意見をいただきました。今後、内容と合わせ、実施形式も検討しながら、より有意義な研修となるようにしていきたいと考えています。

みんなで遊ぼう！

余暇支援の一部で、「みんなで遊ぼう」という活動を行っています。

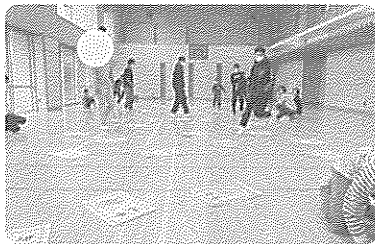
どんな遊びをするかというと、障害物や課題をクリアして走るサーキットや、子どもから大人まで楽しめる内容盛りだくさんの〇×クイズ、謎解きゲーム、風船バレー、ビーチボール、手作りの大型かるたや、作品づくりなどを行っています。児童がユニットをまたいでチームになり、対戦をしたり、協力して問題を解いたりしています。

学園祭のフォトスポットのお城はみんなで見つしよに作りました。折り紙や新聞紙で城壁を貼っていったのですが、きつくり曲がらないように貼る児童、

数種類の紙をランダムに貼っていく児童、それぞれの性格が出ていてもおもしろかったです。みんなの力が合わさって完成したお城は想像以上でした！

子どもたちと楽しい時間を共有できるよう、色々な活動の機会を作っていきたいと思っています。

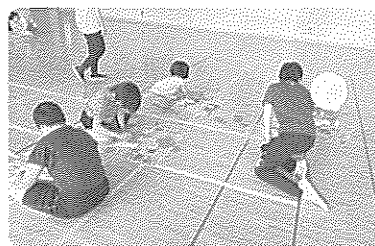
福祉指導員 島 美聡



大型カルタ



風船バレー



お城作成風景



しっぽとり



スポーツ活動について

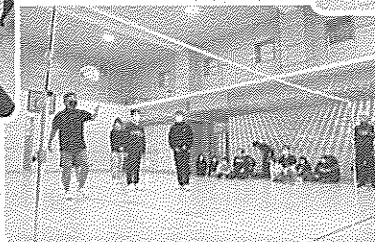
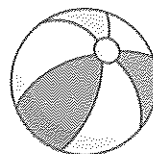
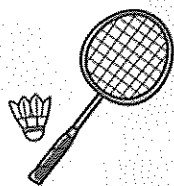
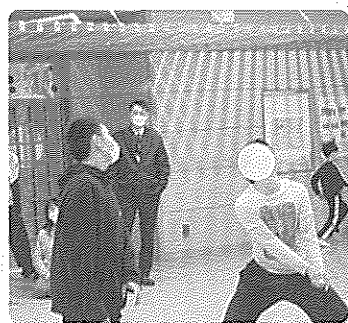
あすなろユニットの児童を中心に
行っているスポーツ活動ですが、今
年度もマラソンにビーチボールバレー、
バドミントンなど精力的に取り組み
ました。

入善扇状地マラソンでは10kmの部
に参加した児童もあり、「つらかつ
たけど達成感があつた」、「走り終わっ
た後の爽快感がたまらない」、「社会
人になっても大会に出たい」との声
が聞かれました。

ビーチボールバレーとバドミント
ンでは、学校教諭と対戦形式で試合
を行いました。白熱したラリーあり、
華麗なスマッシュやアタック、観戦
している児童や職員も興奮しながら
応援しました。

児童からは、「強い学校の先生た
ちや校長先生と対戦できたり、ベア
になれて楽しかった」、「相手に合わ
せることやチームプレイが難しい」、
「苦手だと気づいた」等の声が聞か
れ、自分と見つめあう時間にもなっ
ていたと思います。

スポーツを通して得られるもの、
感じられるものも多いので、今後も
続けていきたいと思っています。



初めての挑戦

中学生のおおばユニットの子ども
たちと職員が一緒に、つらくても頑
張ったことで乗り越えられた経験や
達成感を味わえる活動を行いたいと
考え、令和五年十一月十九日に開催
された「扇状地マラソンinにゅうぜ
ん」ジョギングの部に挑戦すること
を子ども達と話し合い決めました。

夏休み明けより、「自分のペース
で走りきる」を目標に練習を開始し
ました。マラソンは練習を続けるこ
とで、体が慣れてくるものですが、
その日の天候や体調、気持ちに左右
されるもので、ペースはゆっくりで
良いと伝えてあっても、練習の途中
ですぐにあきらめて歩いてしまつた
り、一度つらい思いをすると練習と
聞いただけで嫌な顔をしてしまう子
どももいました。しかし、職員が一
緒に走りながら必死な姿を見せたり、
言葉をかけることによって、子ども
たちはなんとか本番まで練習を続け
ることができました。

そして、本番当日を迎えました。
子どもたちは初めての経験なので、
とても緊張していましたが、全員目
標の「自分のペースで走りきる」こ
とを達成し、加えて全員が本番で自
己ベストを出す走りを見せてくれ、
みんなで喜びを共有できました。
次は、黒部名水マラソンに向けて

係長 村上恵美

練習を開始しており、日々子どもた
ちの成長を感じています。



ファイト一発！育成班紹介

育成班長 林 真佐美

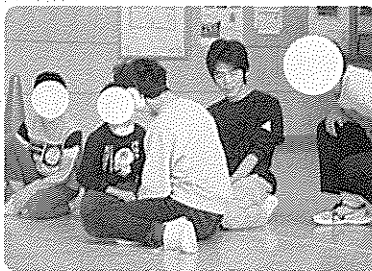
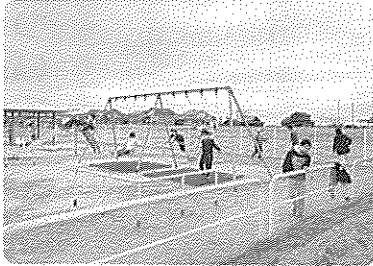
育成班には、小学1年生から高等部3年生までの、男子12名、女子4名の16名の児童が生活しています。とにかく明るく元気で人懐っこく、楽しいことが大好きな16名です。

育成班の特徴の一つとして挙げられるのが、休日の朝

の日課です。9時15分からホールに全員集合し、ラジオ体操とランニングを行っています。普段はユニットごとに生活をしているので、他のユニットの児童と関わることもできるよい機会となっています。

年少児は年長児を兄のように慕い、年長児は年少児を妹や弟のように可愛がる、兄弟のような姿が見られます。

また、ランニングの後には不定期ではありますが「みんなで遊ぼう」というレクリエー



ション活動を行っており、ゲームやミニ運動会などを通して、交流しながら楽しいひと時を過ごしています。

いつもひたむきに精一杯、目を輝かせて物事に取り組む児童の姿を見てみると、心が温かくなります。そんな16名をいつまでも応援し続けていきたいなと思っています。

あすなるユニット紹介

副主幹 桐井 英志

あすなるは自立支援ユニットとして、自分のことは自分で取り組めます。配膳・掃除・洗濯などできることは、ひとりでを行っています。また、共同生活の中で当番制により役割を分担したり、定期的に調理実習も実施しています。所属する児童は退園後、グループホームへ移行することが多く、移行先の事業所より自立度の高さに好評価を得ています。

ユニットは男女別に居室とリビングが設けられており、ダイニングでは男女一緒に食事し、家庭的雰囲気の中で仲良く交流します（今年度は女子不在でした）。決められ



た規則内で、TVやゲーム、間食などを自律的に管理したり、行事を年長者として主導したり、週末等には単独で電車や自転車での図書館や買物など外出する自活訓練を積極的にを行っています。

円滑な地域移行を目標に、作業やスポーツ等を通して、能力・意欲の向上、自信の育成、情緒の安定を図る中で、児童は学園生活を楽しみつつ経験を重ねています。

元気いっぱい！ わかくさユニット

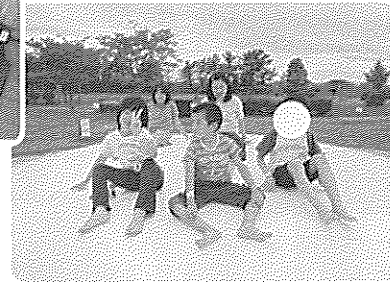
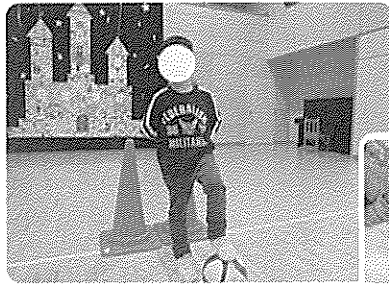
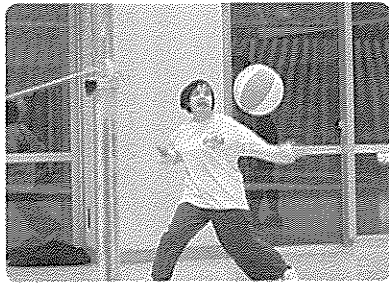
副主幹 三枝 徳子

わかくさユニットは小学生、中学生、高校生の男女7人が生活しています。

おしゃべりが大好きで、好奇心旺盛！どんなことにも「やってみよう」とやる気を見せてくれる元気な子どもたちです。

ユニットでは毎日の生活はもちろんですが、季節の行事やホールでの活動、工作、買い物学習、手作りおやつなど日々いろいろな経験しています。年齢に関係なくお互いに協力し合うことで、子どもたちは多くのことを学び成長しています。

時には喧嘩もありますが、自分



の思いを伝えながら、友だちと仲良く楽しく生活できるよう、寄り添っていききたいと思っています。



ただいま成長真っ最中です

係長 村上 恵美

あおばユニットには、手伝いを快くしてくれる中学三年生のR君、毎日笑顔でユニットを癒してくれる中学二年生のT君、周りの友達に困っていたら手助けしてくれる中学一年生のY君、ユニットのムードメーカーで周りに元気をくれる中学一年生のH君、手先が器用で、

作業が丁寧な中学一年生のR君の五名が生活しています。まさに、思春期真っ盛りの中学生男子です。思春期なので、みんなそれぞれ悩み事がありますし、失敗すること、友達同士、職員ともぶつかることがたくさんありますが、その経験こそが今大事なので、一つ一つ丁寧に話し合い、次に生かせるようにあおば職員と子どもと一緒に取り組んでいます。

また、言葉だけではなく、職員



と子どもが一緒に体を動かして思いを共感し、達成感を味わえるよう、今年度よりマラソン練習や畑作業等にも取り組み始めたところ。毎日、いろいろなありますが、成長真っ最中の今の経験を一つ一つの大事にして、心も体もたくましい大人になることを目指し、前進しています。

療育班紹介

療育班長 上野 美保子

療育班はしおさい、さざなみ、なぎさの3つのユニットがあります。年齢や性別、特性、性格等に合わせた小集団のグループに分かれて生活しています。上は高校3年生、下は小学5年生まで元気なメンバーが揃っています。

年少・女児のなぎさユニットでは少しでもいろんなことができるよう小さなことからコツコツと、とのんびり楽しく過ごしています。年長のユニットでは得意なことや個の時間、自分ペースでプレイベートな時間や空間の中、ゆったりと過ごしています。どのユニットを通しても個別な関わりを重点に個々の力が発揮できるような環境を整えています。

子どもたちの成長は少しずつに見えても一歩ずつ階段をのぼっています。時には降りたり休憩したりしています。そんな時間をいっしょに歩んでいけることに感謝の日々です。

今年度は初めて療育班の中庭でバーベキューをしました。楽しい経験は何よりも子どもたち、そしてそれを支える大人の活力となります。これからも感染対策でなかなかできなかったことにもチャレンジし、「楽しい、びっくり、ドキドキ」などいろいろな経験を通して、子どもたちのたくさんの笑顔に寄り添っていきたいと思っています。

しおさい・さざなみユニット紹介

副主幹 中川 寛淑

しおさい・さざなみユニットでは、現在計5名の方が生活されています。それぞれの方の個性にあわせての支援を心がけています。

それでは、しおさい・さざなみユニットのメンバーをご紹介します。

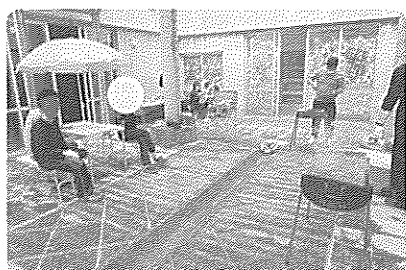
・Hさん：Hさんは高等部3年生。卒業後に向けて色々と練習をしています。ご飯やおやつが大好き。いつもきれいに食べてくれるので、見ていてうれしい限りです。ありがとうございます。

・Yさん：Yさんは中学部3年生。制服の準備など、いろいろとできることが増えてきました。好きなTVを視ている時の笑顔は最高です。今日もありがとうございます。

・Sさん：Sさんは中学部2年生。自分の持ち味を生かして、良い意味でマイペースに生活をしてもらえます。いつも楽しいお喋りで職員を和ませてくれます。ありがとうございます。



・Rさん：Rさんは高等部2年生。ゼスチャーを使って、Rさんからコミュニケーションしてくれそうです。満面の笑顔が皆の癒しになっています。ありがとうございます。



・Tさん：Tさんは高等部2年生。担当の職員が大好きで、出勤を心待ちにしています。いつも元気いっぱい。疲れがちな職員に元気を分けてくれています。今日もありがとうございます。子どもたちに日々感謝しながら、これからもしおさい・さざなみの皆さんと楽しくすごせるようにしていきたいと思っています。

なぎさユニットの

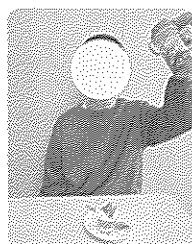
すてきな仲間たち

副主幹 長澤 紀子

恒例のユニット紹介を始めます。まずは紅一点、中学部1年生のKさんは納豆にチーズ、ゆでたまご、それからケーキとマシマロが大好きな女の子です。Kさんが美味しそうにお食事してくれると職員も嬉しくなります。続きまして最年少、小学部5年生のRさんとはとにかく元気で可愛い水遊びが大好きな男の子です。時々いたずらっ子になりますが、かわいい笑顔で見つめられると職員はつい許してしまいます。

そして成長著しい、中学部2年生のYさんはいつも陽気で明るく、それでいてまじめで繊細な一面を併せ持った心優しい男の子です。Yさんが声をかけてくれるので、職員は毎日元気をもらえています。最後はなぎさユニット永遠のアイドル、高等部3年生のSさんです。いつか黒部学園を離れることになっても、首を傾げて優しく微笑むあなたの姿を、職員は決して忘れません。

以上、4人のメンバーと職員は、今日も明日も明後日も、みんな仲良く元気に過ごしていきたいと思っています！



児童会ってなにしてるの？

保育士 井口 綾乃

黒部学園の児童会は、学園に入所しているすべての児童と、担当職員を中心として行事や活動を行っています。

大きな行事の前や、児童に考えてほしい議題がある時は臨時会を開いていっしょに考える機会を設けたり、行事がある時は準備から司会進行までいっしょに行っています。

学園祭では毎年児童会販売を行い、児童の絵や文字を使用したエコバッグ、キーホルダー、マグネットなどを作成し販売、ありがたいことに完売しました。

そして児童会販売の売り上げは、新年お楽しみ抽選会の景品として児童に還元される仕組みです。児童もその仕組みを理解しており、積極的に作品の提供や手伝いをしてくれます。

他にも毎月1回、児童の希望を取り入れたDVDを数本レンタルしています。今後も余暇の充実や、大人も子どももみんなが楽しいこと等、みんなで考えながらやっていけたらと思います。



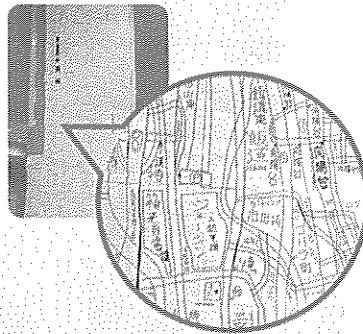
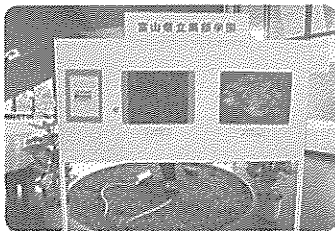
作品展出版について

福祉指導員 藤井 瀬里香

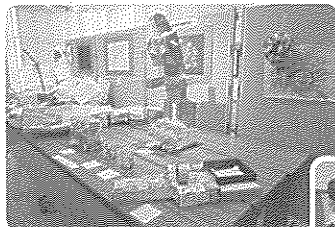
今年度は、地域障害者作品展、パイロット展、未来アート展と、三つの作品展に児童の作品を出展しました。

作成中は「どの色を使おうか」と悩む姿、「ここはやっぱりこうした方がいいかもしれない」と納得のいくまで修正を重ねる姿、「一発勝負、直感で!」と大胆に作成する姿、小さきまざまなこだわりが詰め込まれ、アーティストな一面を見ることができました。

作品展を通し、今後もしろいろな方々に光る個性を身近で見ていただけたらと思います。



大型地図



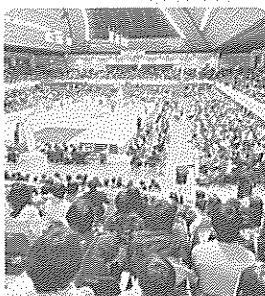
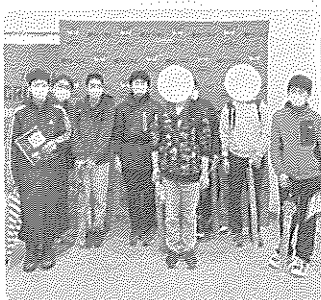
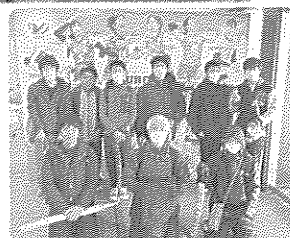
スポーツ観戦の招待をいただきました

働オフィスケイさんより、VリーグのKUROBEアクアフェアリーズの試合、Bリーグの富山グラウジーズの試合に招待していただきました。

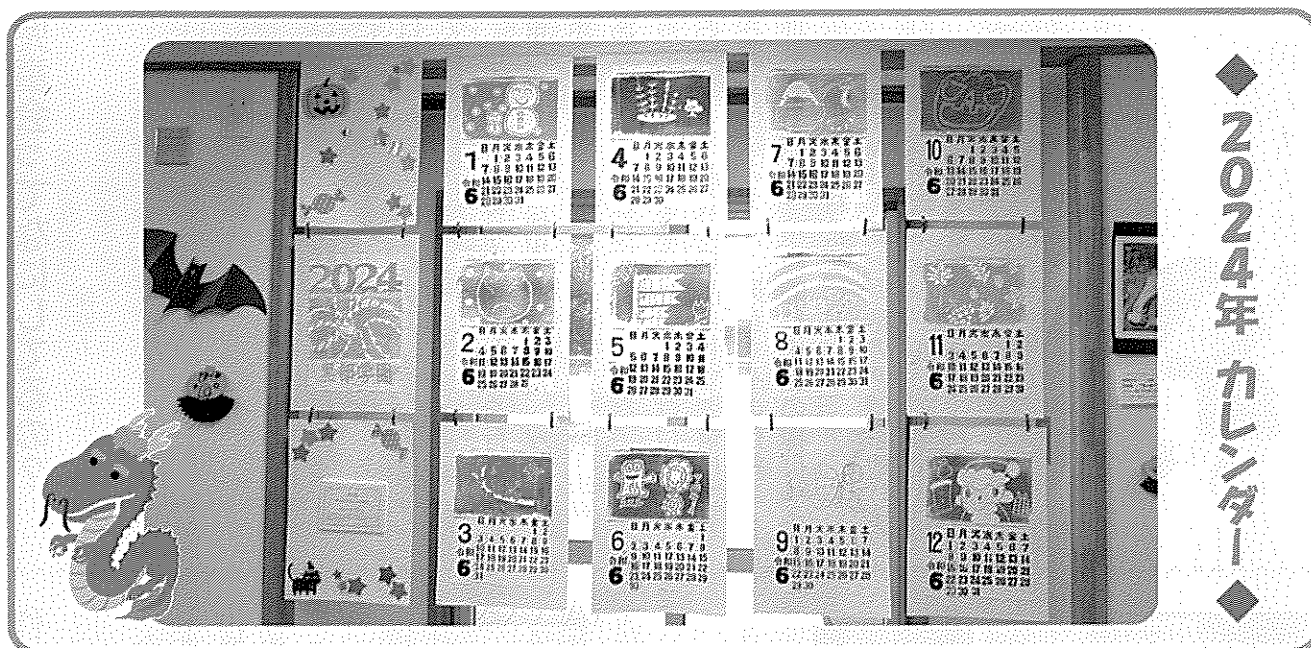
間近で見るプロの技に最初は圧倒されていましたが、どんどん引きこまれていったように、迫力ある試合を隅々まで楽しんでできました。



1月6日
Vリーグ
KUROBE
アクアフェア
リーズの試合観戦



2月10日
Bリーグ
富山グラウジーズの試合観戦



スームアップ



編集後記

皆様のご協力、ご支援により今年度最後のくろべだよりを無事に発行することができました。感謝申し上げます。

今年度も子どもたちのたくさんの笑顔に触れ、日々の生活の中で成長を感じられるととても有意義な一年間でした。時の過ぎ行く時間はあっという間で本当に早いものです。

新年度もたくさんの行事や出来事を通して、子どもたちとのかけがえのない時間を大切に過ごしていきたいと思っています。

善意を寄せてくださった方々
(敬称略)

- ・みらい一れ座 ・アトリエZenkichi
- ・公益社団法人 富山県善意銀行
- ・公益社団法人 黒部青年会議所
- ・富山県農林水産総合技術センター
果樹研究センター
- ・カナカン株式会社「乾親会」
- ・桜井交通親睦会
- ・株式会社オフィスケイ
- ・KUROBEアクアフェアリーズ
- ・岐阜山グラウジーズ ・YOUTA
- ・山本清次 ・田村結衣
- ・富山県職員労働組合

新轉入職員紹介 中村 董



- 1:好きな食べ物
抹茶スイーツ、
クロワッサン
- 2:得意料理
納豆チャーハン
- 3:趣味
御朱印集め
- 4:好きな動画(テレビ)
マツコの知らない世界、
飯尾和樹のずん喫茶
- 5:学園勤務にあたっての意気込み
慣れるまでに時間がかかると思
いますが、職員の方の様子から日々
学んでいきたいと思っています。よろ
しくお願いします。
- 